

佐々木和之(国際ミッション・ボランティア、ルワンダ)帰国報告会

— 大虐殺から 20 年を経て —



佐々木和之 (ささき かずゆき) さん

日本バプテスト連盟国際ミッション・ボランティア。1965年横浜市生まれ。大学で熱帯農業について学んだ後、1988年から計8年半、飢餓が深刻なエチオピアで農村自立支援に従事。エチオピア在住の2000年にルワンダを訪問し、紛争の深い傷跡に衝撃を受ける。同年10月からブラッドフォード大学平和学部博士課程に在籍し、ルワンダの紛争問題と平和構築について研究。2005年から現在に至るまで、現地NGOリーチ (Reconciliation Evangelism and Christian Healing) と協力し、大虐殺後の「癒しと和解」プロジェクトを展開。2011年からは、プロテスタント人文・社会科学大学の教員として、ルワンダ発の平和・紛争研究学科設立のために尽力。洋光台教会員

暴力・恐れ・憎しみを越えて

佐々木さんの横で微笑むベスティーヌさん。彼女は、「償いの家づくり」に被害者側として参加した方です。虐殺時に破壊した家を、加害者自ら建て直すことで、被害者に謝罪し、生活改善に奉仕する「償いの家づくり」。その現場は、被害者と加害者の共同作業の場となりました。そして今、被害者と加害者が、収入の確保のために、共に働く「養豚プロジェクト」を開始し、彼女はその用地を提供したのです。ジェノサイドの被害者と加害者が共通の目的のために力を合わせて働くなど、数年前まで絵空事でしかありませんでした。しかし、それが現実となっているのです。



ジェノサイドから20年を経て、加害者と被害者の壁を乗り越え、和解と共生への取り組みが始まっています。佐々木さんは、ルワンダの大学に平和・紛争研究学科を設立するために尽力しました。ルワンダの若者と世界の若者が、ここで出会い、平和構築のために共に学ぶことを目指しています。ここに至るまでに想像を絶する憎しみや苦悩、到底克服できないと思える対立や葛藤があったことでしょう。そして現在も、その取り組みがおこなわれています。恐怖や不安におびえ、対立的感情に煽られている世界の中で、私たちがルワンダの取り組みから学んでいきましょう。

佐々木さんの一時帰国にあたり、帰国報告会、特別礼拝(佐々木和之さん説教)をおこないます。ぜひ、お越しください。

2014年6月22日(日) 15:00-16:30 帰国報告会
22日(日) 19:00-20:00 特別礼拝



どの集会にも自由にご参加ください。入場無料です。持参するのは何も必要ありませんので、お気軽にお越しください。

帰国報告会主催：佐々木さんを支援する会

共催：日本バプテスト連盟宣教部

会場 日本バプテスト連盟 洋光台キリスト教会

〒235-0041 横浜市磯子区栗木 1-22-3

JR 洋光台駅、京浜急行杉田駅より徒歩 15 分、バス便あり

問い合わせ 電話 045-774-9861 洋光台キリスト教会

<http://www17.plala.or.jp/yokodai/>